

## 第49回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 令和5年12月18日(月) 午前10時00分から午前11時20分まで

会 場 青梅市役所 行政棟3階 教育委員会会議室

出席委員 16名、代理1名

宮口会長、佐々木座長、青木委員、増田委員、若田委員、黒田委員、秦野委員、貫井委員、  
倉科委員(川上代理)、高橋委員、舟窪委員、木崎委員、小山委員、玉野委員、加藤委員、  
鈴木委員、石坂委員(オンライン出席)

オブザーバー 2名 山本様(東京都交通企画課)、袴田様(株式会社ライテック)

情報提供 1名 青梅市高齢者支援課長

傍聴者数 5名

配付資料

議事次第

青梅市公共交通協議会委員名簿

資料1 報告・協議資料

資料2 報告資料(当日配布)

青梅市高齢者移動支援事業について(当日配布)

参考資料 河辺町1～3丁目グリーンスローモビリティ実証運行に関する利用者アンケート調査結果  
報告書

議 事

### 1. 開会

### 2. 議題

#### 【報告事項】

- (1) 前回協議会の振り返り
- (2) 第56回青梅産業観光まつりでの公共交通利用促進の取り組みについて
- (3) 小学校交通環境学習について
- (4) JR 東日本青梅線のマイレール意識醸成に向けた取り組みについて

#### 【協議事項】

- (1) 河辺町1～3丁目グリスロ実証運行結果の速報と今後の予定について
- (2) 地域公共交通会議の併設に向けた取り組み(案)について
- (3) SNS(LINE)を活用した発信について
- (4) 公共交通の写真展について
- (5) その他

### 3. 閉会

## 1. 開会

## 2. 議題

### 【報告事項】

#### ○座長

報告事項(1)から(4)について、一括して事務局から説明願います。

- (1) 前回協議会の振り返り
- (2) 第56回青梅産業観光まつりでの公共交通利用促進の取り組みについて
- (3) 小学校交通環境学習について
- (4) JR東日本青梅線のマイレール意識醸成に向けた取り組みについて

#### ○事務局

資料1の2～16ページ、資料2について説明

#### ○委員

資料2について補足させていただきます。青梅線マイレール意識醸成に向けた取り組みとして、青梅線車内絵画展を開催いたします。車両の運行日時は年明けに青梅駅、奥多摩駅に掲示するポスター、およびアドベンチャーラインのSNSで公表し、児童の保護者様には学校経由で別途ご案内をする予定です。

#### ○座長

ありがとうございました。ご意見、ご質問はありますか。

#### ○座長

特にないようですが、いずれも公共交通の利用促進ということで、マイレール意識醸成についてもみなさんご覧になっていただければと思います。

### 【協議事項】

#### ○座長

協議事項に入ります。事務局から説明願います。

- (1) 河辺町1～3丁目グリスロ実証運行結果の速報と今後の予定について

#### ○事務局

資料1の17ページから36ページについて説明

#### ○座長

内容について、質問等はございますでしょうか。

#### ○委員

今回、病院(市立青梅総合医療センターのことを示す。以下同じ。)経由は無かったですが、病院の利用者もこのような移動手段があると違うのではないかと思いますので、病院の追加を試してみる必要があるのではと思います。また、乗車して安全性について課題を感じました。子どもを連れている方は、ベルトが無いためかなり気を遣っていたようでした。運転手の方も気を配っていた様でしたので、安全性の確保が今後必要になるかと思っています。

#### ○事務局

11月に新病棟の開設があり、工事の影響で付近が渋滞していた状況でした。院内の駐車スペースも限られており、当初はルートに入っていたのですが、定時運行が難しいということで急遽変更し、拠点として河辺駅南口、東側が河辺市民センター、西側がシルバー人材センターというルートになりました。今後、来年度の運行を検討するうえで、病院を経由するルートも検討していきたいと思っております。

車両につきましては頂いたご意見とアンケート、地域の住民の方との意見交換を経て検討を進めていきたいと考えています。

○委員

アリーナ南側にある坂道は100段以上の階段を上らなければならない、住民にとって大変な箇所だと思います。その様な場所をカバーするにはこのような車があると、だいぶ違うと思います。病院がルートに入れば病院の玄関口まで行けて、市民のメリットはかなり大きくなると思いますので是非実現させていただきたいと思います。

○委員

前回協議会での発言につきまして、運賃について実証運行中に限り無償ということで、わかりやすく周知していただき感謝申し上げます。私もグリスロに乗車しましたが、地域の皆さまに頼りにされている移動手段になっており、乗車時間、距離間等も丁度良く適している乗り物になっていると思います。ただ、シートベルトが無いのはやはり怖いと感じました。また、乗務員さんは非常に丁寧に対応されていて、ベルトの締め直し等で乗り降りの回数も多く、常時屋外に居る様な環境ですので労働環境等の配慮も必要かと思えます。

○事務局

今回は京王自動車様に運行をしていただきましたが、普段のタクシー乗務と異なり定時定路線で運行するというご苦勞をおかけしたと思います。この場を借りて改めてお礼申しあげたいと思います。利用者の方、地域住民の方へのアンケートに合わせて乗務員の方のお声もいただく予定です。

○委員

運賃の件について、今回は無償でしたので問題はなかったのですが、今後シルバーパスは利用できるような形で考えていますでしょうか。

○事務局

運賃につきましてもこれから協議の段階ですが、シルバーパスの利用は想定をしていません。市内の既存の公共交通との共存、それを補完する移動手段としての適正な運賃を考えたいと思います。

○委員

実証運行の主な目的、それに対してアンケート結果ではどのような事が明らかになったかを教えていただきたいです。また、27ページには満車区間の記載がありますが、乗れなかった、積み残しがどの程度あったかが分かれば教えていただきたいです。

○事務局

河辺町1～3丁目は高低差がある地域で、幅員等の課題から既存の公共交通を通すことが難しい中、新たな交通手段としてグリスロの導入を検討することとなりました。地域公共交通計画の中でも新たな移動手段の導入、特に持続可能な運行の視点が位置づけられており、まずは河辺町1

～3丁目での需要、課題を把握することが今回の実証運行の目的になります。

満車区間について、乗り切れなかった方の人数は把握しておりません。これだけ満車区間がありますので、積み残しは実際あったかと思えます。今後、車両の定員や台数等を需要に合う様に検討したいと思えます。

○委員

朝9時台は満車になることも多く、次の停留所では乗れないことはありました。市民の皆さんで譲り合う様な場面もあったかと思えます。

○委員

利用実績の人数も多く、かなり良い評価をされているのかなと思えます。運賃の議論や住民の方との相互理解の上で重要なポイントになるかと思えます。

○座長

知らせてビューアでは満席表示もありますが、見られた方がどれ程いるかわかるのでしょうか。

○事務局

閲覧数等は把握しておりません。

○座長

他にご意見等がなければ、次の協議事項について事務局から説明をお願いいたします。

(2) 地域公共交通会議の併設に向けた取り組み(案)について

○事務局

資料1の37ページから39ページについて説明。

○委員

規約の改正案について2点ほど修正をお願いしたいと思えます。第4条(5)について「及び運賃・料金」の記述を削除していただきたいと思えます。10月から取り扱いが変更となり、独占禁止法上のカルテルにあたるという疑義が生じないよう、運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者のみが協議に参加する様な形で別途協議が必要ということになっております。運賃に関する協議については運賃協議会を立ち上げて協議する必要がありますので、運輸支局輸送担当に個別に相談いただければと思えます。ただ、地域公共交通会議のメリットはありますので規約の改正は良いことかと思えます。

また、第4条(6)について「市町村運営有償運送」とありますが、「自家用有償運送」もしくは「交通空白地有償運送」に改めていただきたいと思えます。

○事務局

今後このような会議体の併設に向けた協議は進めていきたいと考えていますので、運輸支局にも相談をしながら進めさせていただければと思えます。

○座長

それでは協議事項(3)について説明をよろしく願います。

(3) SNS(LINE)を活用した発信について

○事務局

資料1の40ページから45ページについて説明。

○委員

45ページ運行系統について、飯41自体は昨年度で運行は廃止しておりまして、現在残ってい

るのは飯41-1となっていますので訂正をお願いしたいと思います。

また、45ページ案内状案の内容について、「青梅市では路線バスを維持するため、年間1億5千万円以上の公共負担を行っています。」とあり、その後に飯41の記述がありますが、運行補助は受けていないため、誤解の無いような文面に修正をしていただきたいと思います。

○事務局

文面につきましては委員からの御意見を踏まえ、修正を行いたいと思います。

○座長

ポスターの掲示箇所はこれ以上増やすことは難しいでしょうか。また、公共・商業施設とはどこなのでしょう。

○事務局

当初より掲示箇所を増やし、市民センター11ヶ所を考えており、調整しております。

○座長

続きまして協議事項(4)になります。事務局の方から説明をお願いします。

(4)公共交通の写真展について

○事務局

資料1の46ページから49ページについて説明。

○座長

開催の目的によって応募資格や募集テーマも変わってくるかと思います。今後詳細については検討の上決めていただきたいと思います。

それでは続きまして協議事項(5)その他に移りたいと思います。

○委員

長淵地区から河辺駅南口方面に向かう路線バスについて、小作駅西口発着、青梅駅発着の2系統があります。これらの路線バスを利用して青梅市役所に行くには、奥多摩街道にある東青梅四丁目のバス停が最寄りになります。歩く距離はそれほどではありませんが、市民から、市役所の前にバス停があるのに、何故通らないのだという声があります。

市役所から青梅市健康センターの前を通り、青梅総合高校に至る一方通行の道路が両方向とも通行できるようになった際、千ヶ瀬二丁目のバス停と東青梅四丁目のバス停の間の経路について、現行の千ヶ瀬バイパスを通る経路から、青梅市健康センターの前を通り、市役所前バス停にも停車する経路への変更を、ぜひ実現していただきたいという、市民の要望があります。

○事務局

市役所から青梅総合高校に至る一方通行の道路についての整備は、道路管理者である東京都と協議を行いながら整備を進めております。事業のスケジュールにつきましては、現在東京都と調整中であり、少しでも早い完成を目指しますので、ご理解のほどお願いいたします。

○委員

現在の路線バスは総合病院入口バス停から病院まで100m程度歩かなければならない状況です。地域住民からすると路線バスが少しでも施設に近いと便利です。また、そうなれば若干利用者も増加すると思いますので、見直していただきたいと思います。

○委員

ご指摘いただいた小05系統、青21系統につきましては長きにわたり赤字が続いている路線で、青梅市の公共負担の対象外であり単独でなんとか継続している状況です。新しく整備される道路を経由したことにより、増加する経費と得られる収入の見込みのバランスをみて検討させていただければと思います。乗り入れることで便利になる方がいる一方で、通勤通学で利用している方々からはなるべく早く駅に到着したいという声もあります。青梅市とも情報を密にしながら進めていきたいと考えております。

○会長

公共交通ガイドについて、自治会連合会の支会長会議にて、青梅駅から御嶽方面に向けた電車の発着時刻がどこにも出ていないという声がありました。

○事務局

公共交通ガイドは毎年作成を行い、配布をしている冊子ですが、紙媒体での周知はある程度ニーズがありますのでレイアウト等を工夫して出来るだけ見やすい、使いやすいものにしていきたいと考えております。

○事務局

市の高齢者支援課から、高齢者移動支援事業について情報提供があります。

○高齢者支援課

追加資料にもとづき説明。

○事務局

続きまして交通政策に係る今後の展開についてご報告です。本日の議題の他、マイナンバーカードを活用したタクシーの運賃補助による高齢者等の移動支援、病院の送迎バス等地域の輸送資源を活用した移動手段について、取り組みを始めております。今後、施策の進捗状況に応じて、本協議会でご報告いたします。

○座長

今回は参考資料としてグリスロ実証運行の利用者アンケートの調査結果が報告されていますので皆様是非お目通ししていただければありがたいです。その他よろしいでしょうか。

それでは協議事項についてはこれで終了となります。進行を会長にお返ししたいと思います。

○会長

委員の皆様も熱心な御議論をいただき、ありがとうございました。皆様のご協力により、円滑に議事を進めることが出来ました。最後に事務局より事務連絡をお願いします。

○事務局

次回の本協議会は令和6年3月の開催を予定しております。委員の皆様には後日開催通知をご送付いたしますので、お忙しいところ大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。

○会長

以上を持ちまして、第49回青梅市公共交通協議会を閉会いたします。ありがとうございました。